



こもれびの森の樹木 (15)

前回からこもれびの森の特徴ある樹を紹介していますが、植生調査チームでは「こもれびの森の珍しい木」のマップを作り、森を散策する人の参考になればと思っています。

前回取り上げた「7本立てのヤマザクラ」は太さで珍しい木ですが、(地上1mでの直径5m56cmと記しましたが幹周りに訂正します)今回は樹高が最も高い樹木です。

今年4月の調査で最も高い樹木は大野台地区のエノキと判定しました。目測で23mあります、その周辺にはムクノキ、ヤマザクラ(2本)、カツラ、がいずれも高さを競っていますが、目測で20mから22mありました。高木が同一エリア周辺に生えているのは何か因果関係があるのでしょうか。

エノキはニレ科エノキ属で落葉高木です、同じニレ科ではハルニレ、アキニレのほか、ケヤキやムクノキがあります。

エノキは昔、街道に一里ごとに植えられ、そこには旅人の休息の茶屋があったといわれています。今もその名残りの大木を見ることができます。雑木林の周辺でもよく見かけられます。



カツラの樹皮と葉

ムクノキはニレ科ムクノキ属、関東以西に分布する落葉高木で雑木林にも多く、街路樹、公園樹として植栽されています。葉がざらつくのが特徴で、かつては漆器の木地やべっこうなどの研磨に使われました。

カツラはカツラ科カツラ属で根元から株立ちもする落葉高木。樹皮は灰褐色で縦に割れ目ができ薄くはがれます。葉は丸みのあるハート型で新緑の明るい緑色、秋の鮮やかな黄色は美しく見事です。ところで世界最高の高い木はアメリカカリフォルニア州レッドウッド国立公園で発見されたコーストレッドウッド(セコイア)でその高さは115, 2メートルもあるが、山奥にはそれよりも高い木があるといわれています。(林)



大野台地区にある
エノキの高木

木もれびの森の野鳥たち 8月

<暑い夏、鳥たちはどうしている?>

7月上旬、セミの仲間のニイニイゼミやヒグラシ、加えて鳴く虫のバッタの仲間も登場して、森はいよいよ夏本番。

鳥を探すには難しい季節。繁殖期も終了間近、さえずりも聞かれず、木々の葉は重なり合って、鳥の姿をうまく隠しています。この時期、子育てを終えた親鳥たちは、1年間使って擦り切れて痛んだ羽毛を抜け替わらせます。この間、羽毛がそろわず、飛ぶ力も落ちて危険なのです。時々、翼をボロボロにして飛んでいるカラスを見かけるかもしれません。

8月、森がセミの大合唱につつまれるころ、羽化のために地中か



森で拾ったフィールドサイン

ら這い出してくるアブラゼミを地上で待ち伏せしているカラス。羽化に成功しても、小型のヒグラシやツクツクボウシはヒヨドリにねらわれたりします。野鳥にとっては食べ物が豊富な季節ですが、虫たちにとっては食う食われるの受難の季節が続きます。

野鳥たちに出会うことが難しい季節ですが、**シジウカラやメジロ・ヤマガラ・コゲラ**の元気な幼鳥たちの群れに出会ったりすることもあります。地面には羽毛の抜けかえで、きれいな色の羽が落ちていることも。そんな発見をしながら、緑の森を歩いてみませんか。（瀬尾）

木もれびの森の山菜と木の芽（3）

山菜は森からの恵みです。気持ちよく、また末永く楽しむためにも、立ち入り及び採取が許可されている場所かを確認する、その生物の維持を考慮し乱獲は慎む、ゴミは持ち帰る、などの基本的なマナーはぜひとも守りたいものです。山菜と言えば春が旬のものがほとんどで、夏は意識されていないと思いますが、「**夏の七草**」なるものもあるようです。由来は、戦時中の食糧事情と関係があるようです。「**アカザ、イノコズチ（ヒカゲイノコズチ）、ヒユ（イヌビユ）、スベリヒユ、シロツメクサ、ヒメジョオン、ツククサ**」の七つで、木もれびの森でも林内、林縁及びその周辺で見られます。料理は若葉、蕾、花などのやわらかい部分を摘み、おひたし、油炒め、天ぷらなどにするのがよろしいようです。（大川）

アカザ (藜)	アカザ科 アカザ属	葉は互生。若い葉の中心が赤い粉を帯びる。これが白いものがシロザだが同種。ビタミン類が豊富。茎は木質化し杖に利用できる。
イノコズチ (猪子藪)	ヒユ科 イノコズチ属	葉は枝とともに対生。実はいわゆる「ひつつき虫」で、種子を動物散布する。別名ヒカゲイノコズチ
ヒユ (莧)	ヒユ科 ヒユ属	葉は菱形卵形で、葉の先が少しへこんでおり、互生。茎や葉柄はしばしば紫褐色を帯びる。
スベリヒユ (滑莧)	スベリヒユ科 スベリヒユ属	葉は対生で肉厚。茎は赤みがかかっていて地面を這って伸び、斜上する。マツバボタンも同科。山形ではよく食されている。
シロツメクサ (白詰草)	マメ科 シャジクソウ属	葉は3出複葉。小葉は3枚が基本だが2~18枚程度の間で変化があり、特に4小葉は「四葉の」クローバーで幸福のシンボル。
ヒメジョオン (姫女苑)	キク科 ヒメジョオン属	葉は互生。根生葉は葉柄が長い。ハルジオンとよく似ているが茎の中が中空なのがハルジオン、白い髓が詰まっているのがヒメジョオン。
ツククサ (露草)	ツククサ科 ツククサ属	葉は互生。今回、唯一の単子葉植物で葉脈は平行脈。青い花卉の汁は友禅の下絵書きに使用される。(変種のオオボウシバナを栽培、利用)



アカザ



イノコズチ



ヒユ (イヌビユ)



スベリヒユ



シロツメクサ



ヒメジョオン



ツククサ

お詫び
大川さんの原稿は木本類のクサギを含めた8種でしたが、編集の都合でクサギの部分をカットさせていただきました。